

製品仕様

品名: 山陵二又ティピーテントTC180

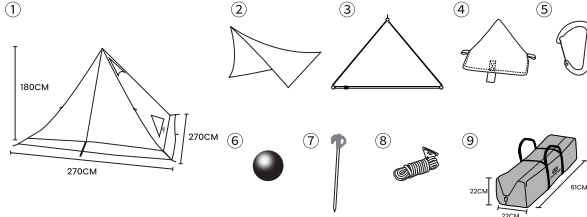
品番: TPP1-2111-KI 収納サイズ: (約) 61×22×22cm
総重量: (約) 6.8kg 組立サイズ: (約) 270×270×180cm

「製品素材」

フライシート/前幕素材: ポリコットン
(ポリエステル系65%+コットン系35%)
二又ポール: アルミニウム 前幕連結用アダプター: ポリエステル

「セット内容」

- | | |
|---------------|------------|
| ①フライシート×1 | ⑥EVAボール×2 |
| ②前幕×1 | ⑦夜光ペグ×6 |
| ③二又ポール×1 | ⑧ガイロープ×12 |
| ④前幕用連結アダプター×1 | ⑨キャリーバッグ×1 |
| ⑤カラビナ×1 | |



設営方法

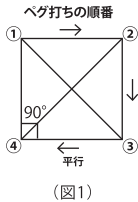
STEP 01 テント本体のフライシートを広げる



1、平坦で障害物のない地面にフライシートを広げます。
前後対称設計ですので、前後どちらも出入口とすることができます。
テントに向かって立ち、煙突口が右側であれば、現在正面にある面がフロントドアとなります。
(または、テント内側にファスナー取り付け部がある面がフロントドアになります。)

△ 注意 平らな場所を選んでください。傾斜があったり凹凸があると綺麗に張れません。平坦でない場所で張ると、シワが出る原因となります。

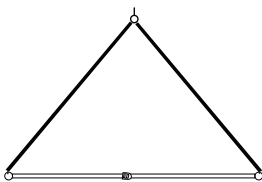
STEP 02 フライシートをベグダウンする



2、テントの各辺が均等に引っ張られた状態になるように、X部分のループを図1の順番でベグで固定します。

△ 注意 ポイントはテントの四隅がそれぞれ90度になるようにしてください。ひし形になると綺麗に張れません。

STEP 03 二又ポールを組み立てる



3、2本の黒いボール(各4節)を組み立て、二又ポールジョイントに差し込みます。次に、調節ベルトの両端にあるピンを、ポールの後端に差し込みます。

発売元: GOGlamping

お問い合わせメール: goglamping@hotmail.com



CampGog



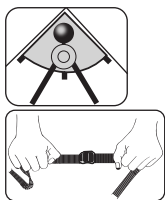
[goglampingclub](https://www.instagram.com/goglampingclub)



[goglamping-jp](https://twitter.com/goglamping-jp)

GOGlampingの製品は「安心保証」が付きますので、製品の初期不良、故障などがある場合は、弊社のお問い合わせメールまでお気軽にご相談ください。全力でアフターサポートいたします。

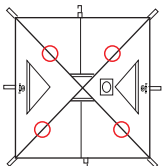
STEP 04 フライシートを立ち上げる



4、EVAボールを二又ポールジョイントの先端に取り付けてください。付属の前幕連結用アダプターを二又ポールジョイント部の上に被せ、テント内側の中央に差し入れます。二又ボールの位置を合わせて、調節ベルトのバックルで高さを調整します。

⚠ 注意 バックルで調節ベルトは限界線を超えて引かないでください。強く引きすぎると、破損する恐れがあります。

STEP 05 張り網を張る



5、フライシート四辺のループ4箇所(O部分)をロープで引き、ベグで固定します。テント本体にテンションをかけてください。

⚠ 注意 このベグは付属しておりません。必要に応じて用意ください。

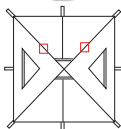
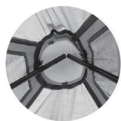
STEP 06 三角通気窓を開ける



6、両サイドにある三角通気窓のマジックテープを剥がし、支柱で保持します。三角通気窓先端にあるループにロープ（短）を引っ張り、ベグで固定します。

前幕の設営方法

STEP 01 テント内側から連結するモード



1、フライシートのフロントドアの中央ファスナーを開けます。頂上部分の二又ポールジョイント部に被せている連結用アダプターに付属のカラビナで前幕の後端を留めます。前幕の先端ハトメをポールで跳ね上げて、3箇所ロープを張ります。前幕の設置により、テント全体が前傾する場合があります。図2のように後面ループ2箇所(□部分)をロープダウンして頂きますと、耐風性が向上します。

⚠ 注意 前幕用ポールおよびベグは付属しておりません。必要に応じてご用意ください。前幕用ポールは200cm～230cmをお勧めします。

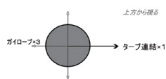
STEP 02 前幕フルクローズモード



2、前幕の両端をフライシート内側の両サイドにあるジッパーに取付けます。前幕の先端ハトメをベグで固定します。

⚠ 注意 前幕を閉じた際、上部に隙間ができる場合は、フロントドアのファスナーを引き下げて隙間をカバーする事ができます。前幕用ベグは付属しておりません。必要に応じてご用意ください。

STEP 03 テント外側から連結するモード



3、二又ポールの調節ベルトを緩め、前幕連結用アダプターを取り外して、テント外側の頂点に被せませす。

図3のように、連結用アダプターのループ3箇所にガイローブを掛けて、ベグで固定します。

次に、連結用アダプター先端のループにカラビナで前幕を取り付け、前幕の先端ハトメをポールで跳ね上げて、3箇所ロープダウンします。

注意 前幕連結用のポールとベグが付属しておりません、別途用意する必要があります。

撤収手順

STEP 01 二又ポールを取り出す

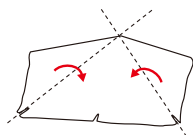


フライシートからすべてのベグ、ローブを取り外します。

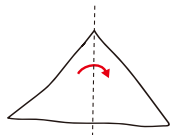
次に、二又ポールをテント本体からゆっくり外し、前幕を取り外します。

注意 二又ポールが倒れてケガをする恐れがあります。周囲に誰もいないことを確認してからポールを取り外してください。

STEP 02 フライシートを畳む



フライシートを地面に広げ、テント頂点を対称線として、三角形に折り畳む



両端を中央へ折り込み、三角形にする



キャリーバッグ

キャリーバッグに入るサイズまで折り畳む

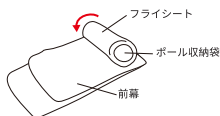
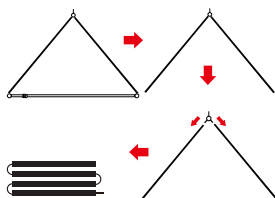


全体を二つ折に、長方形にする

注意 生地を濡れたまま収納すると、防水効果が著しく損なわれ、色移りやカビ発生の原因となる為、汚れをよく落とし、十分乾かしてから、収納保管してください。

フライシートで固定したローブ、ベグ、バックルなどをすべて外して、フライシートをインナーテントから完全に外して、左図のように畳みます。

STEP 03 全体を巻いて収納する



畳んだフライシートをポール収納袋を芯にして巻いていく。

二又ポールを全て折り畳み、ポール収納袋に収納してください。

フライシートと前幕を左図のように巻いて、キャリーバッグに収納すれば完了です。

本書は製品を安全に使用するために禁止事項を記載しております。
使用前に必ずお読みください。また必ず製品と共に保管してください。

警告

- ・ご使用になる前に必ず、本製品の劣化や、表面にキズ・亀裂がないか確認してください。異常のある場合は危険ですので 絶対に使用しないでください
- ・台風、暴風雨の際は絶対に使用しないでください。
- ・ご使用中は天候の変化にご注意ください。突風や豪雨、雷などの悪天候が予測される場合は、使用を中止し速やかに撤収の上、安全な場所へ退避してください。
- ・幼児の手の届かない安全な場所に保管してください。
- ・本来の目的以外では使用しないでください。
- ・他人の迷惑になる場所や、危険な場所で使用しないでください。
- ・ご利用前に一度組み立てし、手順の確認と、付属品に不足が無いかをご確認ください。

注意

- ・必ず周囲の安全を確認し、十分に広い場所で使用してください。(特にお子様がいる場合は、フレームがぶつかったりしないよう充分にご注意ください。)
- ・設営及び撤収の際は手袋を着用し、安全に作業をしてください。
- ・取扱説明書に従いすべてのガイロープを確実に固定した状態でご使用ください。
- ・テント内と外気の温度差が大きかったり、使用人数が多い場合は、結露が生じテント内に水滴が付く恐れがあります。
- ・製品に使用している素材は使用頻度に関わらず、湿度、日光、温度などの環境要因により徐々に劣化します。
- ・山岳用、常設、日常使用などの、高頻度での使用は避けてください。
- ・直射日光が常時当たる環境で使用されると、退色や生地が短時間で進み、製品寿命が早まる要因となります。
- ・砂地や河原など、付属のベグで充分な固定が難しい環境では、別途設営状況に合わせたベグをご用意ください。
- ・天災等の不可抗力や、お客様による製品の改造、誤った使用方法、不当な修理、改造による事故や故障、破損等は保証致しかねます。
- ・レンタル業・中古販売における他人への貸し出し・販売・譲渡によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。

メンテナンス、保管上の注意

- ・テント全体に撥水加工が施されています。絶対に洗濯機で洗わないでください。また、一切の洗剤を利用しないでください。
- ・用後は濡れタオルで汚れをよく落とし、乾燥させてから収納、保管してください。
濡れたままや汚れたまま収納保管すると、カビや臭いが発生したり、色移りする可能性があります。
- ・高温多湿の場所に保管すると生地の劣化を早めます。風通しが良く直射日光が当たらない場所に保管してください。

TC生地に関しまして

- ・TC生地は綿とポリエステル混紡となり、織りムラや織りキズがどうしても出てしまいます。
TC独特の風合いとなりますので、多少の染色ムラ、織りムラ、織りキズはご容赦ください。
なお、織りムラが原因となる水の浸透は、ほとんどございません。
- ・ポリコットン(火の粉)による穴が空さにくい素材ですが、完全に燃えない素材ではありません。テント内での焚き火は推奨していません。
火の粉の飛び散りにはご注意ください。
- ・TC生地は防水コーティングされたポリエステル生地などは異なり、水分を吸収した際に綿素材が膨張し、雨漏りを防ぐ構造です。
そのため、張り方が弱かったり、長時間雨に濡れた際には、雨漏りする可能性があります。
- ・フロントフラップを上げた状態で雨が降った場合は、雨がフロントフラップの上に溜まり、テントの破損や雨漏りの可能性がございます。
必ず水が流れるようフロントフラップを張り上げているポールを片方下げたり、フロントフラップ中央から張網を張って水を流すなどの対応をしてください。
- ・基本的には、雨の日は使用しないことをお勧めします。突発的な悪天候の場合は、タープと一緒に使用することをお勧めします。

テント内にストーブを設置する時の注意点

- ・ストーブをテントの中に入れる場合は、煙突口の傾斜面の配置位置と角度にご注意ください。また、熱源がテントに近づきすぎないでください。
薪ストーブや石油ストーブとテントとの距離は必ずあけてください。テント素材と直接接触させないでください。
周辺には燃えやすいものを置かないでください。
- ・テントと煙突の接触部分を十分に断熱してください。耐熱ガードなどの断熱対策をご検討ください。
- ・耐熱シートを煙突と直接接触させないでください。耐熱シートの穴は、煙突ガードより大きく裁断してください。
(耐熱シートは融点に達すると正常に溶け落ちます。取り替えを想定した消耗品となります。)
- ・煙突口のカバーをしっかりと巻き留め、風で落ちたりしないようご注意ください。また、煙突が倒れないように固定してください。
- ・ベンチレーターや出入口が閉まった状態で使用すると、酸欠や一酸化炭素による事故の可能性があります。必ず定期的に換気をし、ベンチレーターを開けた状態で使用してください。
- ・お客様による誤った使用方法によって発生した、損害・事故・各部品の損傷・劣化におきましては一切責任をおいかねますので予めご了承ください。
※ストーブを利用する際は、火災や一酸化炭素中毒に十分留意してください。